

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和7年度分）

施設	名 称	栃木市大平地域福祉センター（ふるさとふれあい館）
	所 在 地	栃木市大平町真弓1396番地
	施設内容	大平地域福祉センター
指定管理者	名 称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所 在 地	栃木県栃木市今泉町2丁目1番40号
	主な業務内容	地域福祉事業の推進・ボランティア活動の振興・介護保険事業の実施・障害者総合支援法の実施

（１）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値	
	アンケート数			250件		292件	
	利用者意見反映数			3件		3件	
	利用案内掲示数			3カ所		3カ所	
	利用者満足率			86%		93%	
	業務改善数			3件		3件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	①栃木市地域福祉センター条例等に基づき、センターの運営方針を定めて職員に周知し管理運営を行いました。 ②利用者には平等、公平に対応するよう心掛けるとともに、センターの案内等をホームページ等に掲載し、利用促進を図りました。 ③アンケートの実施期間を延長し多くの方の意見を把握できるように努めました。また、施設の管理運営に意見を反映するよう努め、令和7年度利用者アンケートでは93%の方から施設の利用に関し「満足」「やや満足」の評価を受けた。さらに親切的な職員の対応に感謝する回答が多数ありました。 ④苦情解決に関する規程に基づき苦情相談窓口を設置し、苦情担当者を選任して、苦情に対応する体制を整えています。						
施設所管課コメント	・施設設置の根拠となる条例に基づいて運営方針が定められており、基本方針として明文化されている。 ・利用について平等、公平を念頭に対応するとともに、計画値と同数の案内掲示を行い、利便性等への配慮がなされている。 ・アンケートについては実施期間を予定より延長し、計画値を15%上回って取得した。また、アンケートに基づく意見反映や業務改善を計画値どおりに実施した結果、利用者満足度が計画値より8%高い実績となった。 以上のことから、評価ランクはⅡとする。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値
	利用者数			13,000人		13,739人
	情報発信回数			6回/年		12回/年
	地域との協働事業数			4事業		4事業
	協働等事業参加者数			8,000人		33,368人
	自主事業数			16事業		18事業
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	I	1.0	20	I	1.0
指定管理者コメント	①事業計画に基づき各種事業を実施しました。 ②施設認知度を上げるため新規に元気シニア向け正しい歩き方講座2回・若年層向け親子茶道体験1回開催し、施設活用のPRとともに会員募集中の趣味グループの紹介を行った。また、ロビーに利用団体で会員募集の一覧を掲示し会の加入促進及び施設利用促進を行った。（年間10人以上へグループ紹介を実施）既存の登録団体会員が減少する中、計画値を超えることが出来ました。 ③本会広報紙「ふくぴーだより」やホームページ、地域限定タウン誌「すまいる」等により広報活動を積極的に行いました。 ④地域との協働事業として、46ヶ所の大平地域自治会社協への地域活動支援、学習支援、オレンジカフェへの協力を実施しました。 また、公共性の高い事業・団体で夜間利用を希望する場合には、平日午後9時まで自主管理による貸出を行いました。（貸出実績：大平わいわいテラス）					
施設所管課コメント	・広報紙等による情報発信回数は計画値比200%の実績が認められ、新規利用者獲得に向けた積極的な広報活動を行った。 ・開館時間の延長や特定の世代をターゲットにした講座の開催など、新規利用者獲得に対し効果的な取組みを行った。 ・利用者等の満足度向上のため、計画値より13%多く自主事業を開催したほか、計画値比410%の協働事業を開催し、利用者満足度の対計画値比8%向上を達成した。 以上のことから、評価ランクはIとする。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	経費削減額			100,000円	175,900円	
	経費削減率			2.0%	2.5%	
	見積合せ実施数			6件	8件	
	施設修繕数			8件	10件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	I	1.0	15	I	1.0
指定管理者コメント	①収支手続きなどの会計処理は、会計責任者、出納責任者及び会計職員の3者を置き、相互のチェックを行うとともに、監事による監査や税理士によるチェックを行いました。 ②コピー用紙の両面利用やミスコピーの裏面利用、事務用品の節約など経費節減を心掛けするとともに、職員に対するクールビズやウォームビズの実施、LED照明への順次交換、利用者の方に不快感を与えない範囲での照明の消灯を行い、光熱費の削減に努めています。 ③保守点検等の業務委託は複数業者間の競争により、経費の削減に努めました。 ④修繕が必要になった箇所は、速やかに修繕し利用者に不便が無いように努めました。					
施設所管課コメント	・収支手続きについて3者によるチェック体制を構築したほか、監事や税理士等第三者による監査を実施するなど、透明性の高い会計管理体制を構築している。 ・見積合わせの実施や日常的な経費削減努力の結果、計画値から76%増となる経費削減を達成した。 ・経費削減の目標を達成しつつ、目標を25%上回る回数の施設修繕を実施しており、施設、備品を適切に管理しているほか、サービスの質を低下させることなく経費削減を実施していると認められる。 以上のことから、評価ランクはIとする。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	人員配置数			5人	7人	
	研修会開催数			5回	5回	
	研修会参加者数			5人	6人	
	勤務時間数(1人当り)			7.75時間	7.75時間	
評価	配点	第1次評価(指定管理者評価)			第2次評価(施設所管課評価)	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①センター業務の管理経験のある職員を配置して管理するとともに、隣接するデイサービス、ケアプランセンター及びヘルパーステーションと連携し、必要に応じて支援できる体制を確保しました。 ②月間スケジュールを各職員へ配布し、それぞれの業務の共通理解を図っています。更に職員の資質向上のため、積極的に研修会に参加しました。 ⑤各種税金や各種社会保険については、適切に納入し未納はありません。					
施設所管課コメント	・計画値比で40%増となる人員を配置しており、施設の管理運営に十分な人数を確保している。 ・計画値と同数の研修会に参加しているほか、個人の業務について共通理解が図られているなど、施設運営に必要な育成環境が構築されていると評価できる。 ・各種税金等についても適切に納入されていることを確認した。 全ての評価指標について計画を達成していることから、評価ランクはⅡとする。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み						
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか				
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか				
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか				
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値
	安全点検実施回数			313回		318回
	訓練実施回数			2回		3回
	安全講習会等参加者数			1人		6人
	訓練参加者数			60人		65人
	事故発生件数			0件		0件
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①職員による巡回確認を行い危険個所の確認及び事故防止に努めました。また、公道にはみ出した高木伐採、剪定を実施し安全確保に努めました。 ②消防訓練を年2回実施しました。また、シェイクアウト訓練を1回実施しました。 ③緊急電話連絡網や火災時の自衛消防隊を編成し、事務所内に組織表及び連絡表を掲示しました。また、AED講習会を受講し緊急時に職員が対応できるようにしました。 ④個人情報保護規程を職員へ周知し、個人情報の取扱等に配慮しています。					
施設所管課コメント	・職員による日常的な安全点検及び法定の点検について適切に行っていることを確認した。 ・計画された回数の訓練を実施し、計画を上回る参加者数を達成した。 年間を通して事故が無く、全ての評価指標において計画を達成していることから、評価ランクはⅡとする。					

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保と サービス向上の取組み	25	20	20	
(2) 施設の効用を最大限に 発揮する取組み	20	20	20	
(3) 施設経費の削減の取組み	15	15	15	
(4) 施設の管理を安定して 行うための取組み	20	16	16	
(5) 施設の安全対策、 危機管理体制の取組み	20	16	16	
評価点合計	100	87	87	
総合評価		A (優)	A (優)	

第3次評価（選定委員会評価）	
選 定 委 員 会 コ メ ン ト	

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期
資産総額	1,965,766,261	1,962,114,735	1,911,724,704
売上高	807,520,501	804,065,009	771,564,514
経常利益	△ 78,435,421	△ 66,888,293	△ 84,141,671
当期利益	△ 78,285,914	△ 72,810,722	△ 88,902,151
経常収支比率	91.2%	92.3%	90.2%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。
この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期
経常費用	888,350,143	872,437,597	857,435,842
経常収益	809,914,722	805,549,304	773,294,171
経常収支比率	91.2%	92.3%	90.2%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

都賀支所移転に伴い、全体的な事務事業及び組織の更なるスリム化を進めたことにより、事業費支出と事務費支出を削減することができました。しかしながら、令和6年度においても本会全体の財務状況は、依然として収益事業の実績が思わしくなく、介護保険事業収益や障がい福祉サービス等事業収益の減により経常収益の減少が続いております。繰越金があることも考慮すると、現時点で組織全体の運営に支障はありませんが、経営の安定化に向け、職員全体でコスト削減と収入源の確保に向けて取り組みを継続いたします。